

われらの道



令和6年7月25日発行

文責 附属中 加藤克人

1・2年若桐のつどい

1年生は、6月26日に甲府周辺の地域を知り、身の回りの環境と文化のかかわりを再発見するため、グループごとに分かれて様々な施設を見学する若桐のつどいを行いました。

2年生は、6月26日・27日の両日、これまで取り組んできた富士山学習についての検証と富士山の



自然を体験するため、若桐のつどいを実施しました。両日とも天候に恵まれ、それぞれの学年にとってこれまでの学習をさらに充実させる活動になりました。



第1回事前研究会

事前研究会は、本校の研究について、県内外の先生方から様々な意見やアドバイスをいただき、11月30日の中等教育研究会をより充実したものにすするために行うものです。今年度は1回目を7月5日に行いました。各教科で研究授業を行い、その後の授業研究会では、教科研究の中身をより充実させるために建設的な話し合いが行われました。

金田一館長出張トーク・

三枝館長出前授業

7月3日に山梨県立図書館の館長である金田一秀穂先生を講師にお迎えし、講演会を実施しました。



「読書について」というテーマで、金田一先生のこれまでの豊富な経験から興味深いお話をいただきました。

7月4日には、山梨県立文学館の館長である三枝昂之先生を講師にお迎えし、短歌についての授業を2年生対象に行いました。言葉の豊かさや奥深さを知る貴重な機会となりました。9月にも2回目の授業を行っていただく予定になっています。

学校保健委員会

7月10日には、生徒代表も参加して、学校保健委員会が開催されました。養護教諭から、本校生徒の健康の様子についての説明があった後、学校医の先生方から、健康で充実した生活を送るためのご指導をいただきました。その後、健康について保護者の皆様、生徒から学校医の先生方にたくさん質問が出されました。

夏休み

4月以降、保護者の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。生徒も様々な人と関わる中で、自分たちの生活を・自分たちの学校をより良いものにしていくという姿勢が強く感じられる日々でした。

夏休みも体調を崩すことなく、有意義に過ごしてほしいと思います。これまで身につけてきた生活のリズムを維持し、「夏休みだからできること」に挑戦してほしいと思います。

七十二候

今の季節は、

桐始結花【きりはじめてはなをむすぶ】

桐は、初夏に薄紫色の花を咲かせ、成夏を迎える今頃、卵形の実を結びます。この長さ3cmほどの実の中には、翼のある種子がたくさん入っており、風に乗って飛散します。桐の樹高は10m以上と大きく、花も高い場所に咲くため、目にする機会はあまりありません。

古来より高貴な木とされ、家紋や紋章の意匠に取り入れられてきました。天皇家や日本政府、500円硬貨、附属中の校章にも桐が使われています。

土潤溽暑【つちうるおうてむしあつし】

この時期に学校は夏休みに入り、子どもたちの夏が本番になります。土が強い陽気を受けて熱を発することや熱そのものを「土熱れ(つちいきれ)」といいます。まさにこの時期の蒸し暑さを体現している言葉といえます。